

図書館だより 第4号



県商・奈良情報商業高校図書館
令和4年7月発行

夏休みまであと少し…。暑さも日に日に厳しくなってきました。
本を読むことで、いろいろな体験をし、様々な人生に出会うことができます。
また、いろいろなことに興味を持ち知識や教養を身に付けてほしいものです。

夏期休業中の図書館の開館について

開館日：7月21日(木)～8月5日(金)
8月22日(月)～8月31日(水)
ただし、土・日・祝日は除く
開館時間：9時～12時

夏期休業中の本の貸出について

貸出冊数：一人原則として10冊まで
最終返却予定日：9月1日(木)



読書感想文募集!

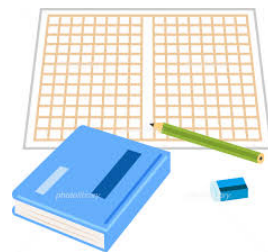
第68回青少年読書感想文奈良県コンクールについて

対象：課題読書…「とみやま」に紹介しています!

自由読書…各自で自由に選んだ図書

用紙・字数：400字詰原稿用紙 (1801字～2000字)

提出：1・2・3年生とも自由課題です



なぜ本を読むことが大切なのかな?

一冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。本の中で旅をしたり恋をしたり、冒険をしたり……。人は本の中でいろいろなことを体験できます。登場人物と自分の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。また、本を使って、疑問に思ったことを解決するために調べることができます。本を読んで新しいことを知ると、びっくりしたりうれしくなったりします。本は、人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友だちだからです。

創作ミニ絵本・しかけ絵本 展示会開催

開催期間：7/8～7/29
場所：本校図書館

3年生が家庭科の授業で創作ミニ絵本をつくりました! 図書館で展示を行います。いろいろなしかけ絵本も合わせて展示します。乞うご期待!

絵本は絵と文章のコラボレーション。
絵と文章が仲良く手を取って、あるいは激しく反発しあって、あるいはまったく関係なさそうなふりをして、ひとつの世界を創

図書委員のいちおし図書

3年2組 佐々岡優向

『致知』 致知出版社 人間学を学ぶ雑誌

この雑誌を読めば、必ず人として一歩先にすすめる。何か成功した人の生き立ちや考え方を知ること、自分には無かった考え方や今の自分の考え方で、この先成功できるのかわかる。そうすることで、今後訪れるどんな問題も自分で解決できるようになるだろう。なので僕はこの雑誌を薦める。

3年2組 谷口 心美

『君の脾臓をたべたい』 住野よる著 双葉社

この本は映画でも有名で、「生きること」を考えさせられる話です。脾臓の病気を持っている桜良の「一日の価値は一緒」という言葉がすごく印象的でした。映画を観た人も観てない人もぜひ読んでみてください。



ベストセラー

クラス別 図書貸出状況 (令和4年4月～6月) 貸出冊数

	1組	2組	3組	4組	5組	合計
1年	113	112	95	102	45	467
2年	168	25	18	66	61	338
3年	43	27	29	32	61	187
教職員						130

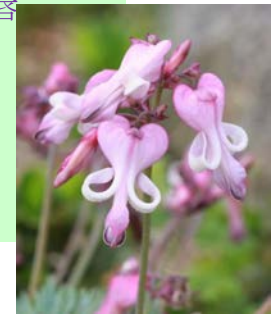
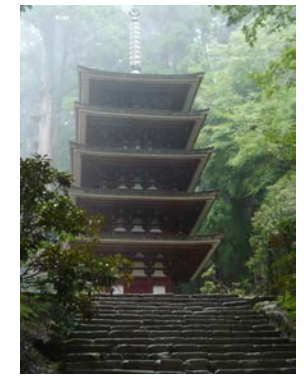
リレーコーナー

国語科 左川正太郎

選
毎
日
俳
壇
より
◎入

小川 軽舟・選
緑差す雨の匂ひを感じつつ

毎日新聞掲載
2019年6月11日(木)



冬見正剣 (左川正太郎)
咲く前のコマクサの如きさやけさよ薄紅の君が唇
『奈良県百年記念 現代奈良万葉集』 (昭和六十三年発行) よ

詩歌・寸評

寒い夜の自我像

中原中也

きらびやかでもないけれど、
この一本の手綱(たづな)をはなさず
この陰暗の地域をすぎる！
その志(こころざし) 明らかになれば
冬の夜を、我は嘆かず、
人々の憔悴(しょうそう)のみの愁しみや
憧れに引廻(ひきまわ)される女等の鼻唄
わが瑣細(ささい)なる罰と感
そが、わが皮膚を刺すにまかす。
踰躑(よろ)めくままに静もりを保ち、
聊(いささ)か儀文めいた心地をもって
われはわが怠惰を諫(いさ)める、
寒月の下を往きながら、
陽気で坦々として、しかも己を売らないことをと、
わが魂の願うことであつた！

中原 中也:1907年(明治40年)山口県生まれ。13歳の時に雑誌に投稿した短歌が入選。23年山口中学落第、京都の立命館中学3学年に転入。24年詩人富永太郎を知る。25年上京後、日本大学予科に入学するも退学。小林秀雄、大岡昇平らと交流する。26年「朝の歌」、29年「無題(のち「サーカス」と改題)」発表。33年結婚。34年『山羊の歌』を刊行する。36年長男文也死す。37年『在りし日の歌』を編集。37年結核性脳膜炎を発病。同年10

「きらびやかでもないけれど、／この一本の手綱(たづな)をはなさず」
には、

中也の詩人としての自覚が窺(うかが)われる。詩を人生そのものとした彼の決意が滲(にじ)み出ている。僕には鮮やかに、きらびやかでもない瞬間(とき)の輝きが感じられる。

(「『天使の手帖』私の好きな中原中也の詩一、〇〇〇人アンケート」より)

『汚れつちまつた悲しみに—中原中也詩集』
©2016 朝霧カフカ・春河 35/KADO
KAWA/文豪ストレイドッグス製作委員会
角川文庫 KADOKAWA

『文豪ストレイドッグス』とは

太宰治や中島敦といった実在した日本の文豪たちが、各々が執筆した作品名を冠する特殊能力を駆使する能力バトルもの漫画。通称「文スト」。

中原中也。

能力名：汚れつちまつた悲しみに。ポートマフィアの幹部で、武装



汚れつちまつた悲しみに……

汚れつちまつた悲しみに
今日も小雪の降りかかる
汚れつちまつた悲しみに
今日も風邪さへ吹きすぎる
汚れつちまつた悲しみは
たとへば狐の革衣
汚れつちまつた悲しみは
小雪のかかつてちぢこまる
汚れつちまつた悲しみは
なにのぞむなくねがふなく
汚れつちまつた悲しみは
倦怠のうちに死を夢む
汚れつちまつた悲しみに
いたいたしくも怖気づき
汚れつちまつた悲しみに
なすところもなく日は暮れる……